

2018年度 前期授業評価アンケート 顕彰科目担当教員コメント

教員名	清水大介（仏教学科）
顕彰科目名	宗教哲学研究（大学院修士課程）
<p>●授業運営において工夫されている点</p> <p>（1）本学年度より、本科目は留学生中心に切り替えました。正規の留学生の院生の他に、私の話を聞きに来てくださっている社会人の科目受講生が6，7名おりますが、これら大人の出席者さんたちは、留学生を親切によくサポートしてくださっています。全体に和気藹々の雰囲気になるように努めています。</p> <p>（2）元来の理想は、ロジャーズらのクライアント中心のセラピーでして、教師はできるだけ姿を消して、学生が自由に主体的に発言・活躍して下さるように、周辺設定を完璧に準備するようにしています。ただし、留学生の場合には、こちらがある程度引っ張っていくことも必要になります。</p> <p>（3）プライベートなことになりますが、私は十年以上欧州で留学生生活を続けましたため、留学生が苦勞しているところが自然にわかることが多い感じがします。それで、おのずと孫の手が届くといったことも、あるいは起きているかもしれません。今回の高評価は、異国で苦勞している留学生たちの心意気から出たものかと、たいへん感謝しております。</p> <p>●今後取り組んでいこうと考えておられることなど</p> <p>自然体でやっているものですから、あまり今後の取り組みについては考えておりません。</p>	